

## BOX便り

### 初ソロ記

2年生 山南秀希

2009年9月18日、102発目にしてようやく初ソロに出ることが出来た。

1回生が終わった時点で総発数60発とソロ前に到達。5月合宿では初ソロ基準である70発を超えるだろうと思い、2月以来であるフライトの勘を体験搭乗合宿に行き取り戻そうとした。

しかし、新型インフルエンザの影響で自分の参加日数は1日だけに。この1日に集中して飛ばさせてもらい70発は超えたものの、技量が追いつかず次の6月合宿まで持ち越しに…。

合宿から帰った後、同じぐらいの発数を持った川治が初ソロに出たと聞いたが、自分もすぐに次の6月合宿で出られるだろうと思っていた。

しかし、そんな軽い気持ちでいい結果が出るはずなく、6月の2日合宿という少ないチャンスをつかめずに終わった。この合宿で丹羽さんが初ソロに、また他大学の同回生が次々と初ソロに出て、動力の養成もうまく進まず、焦る気持ちが大きくなった。

6月合宿が終わると木曾川での合宿は9月まで無い。8月の福井合宿・同立戦ではATのためソロに出られず、発数だけが溜まっていくと考えると情けない気持ちになった。思えば、1回生の11月頃に西村が「初ソロになかなか出られへん」と嘆いていたとき、「発数なんか関係ないやろ、ソロ出してから効率よく行けばいいやん」と言っていた自分がおかしく思える。

同立戦Ⅱ部競技では、3位だったが自分の想像していた以上の成績だったので自信がついた。さらに川治はATソロと先に進んでいき、9月は絶対に出ないといけないと気持ちを強くさせられた。

しかし9月、合宿序盤は全然ソロに出られる気

配が無く、焦りと諦めの気持ちが出てきた。その時、江口教官から目が覚めるような厳しい意見ももらい、なんとか1回目のチェックを通過。しかし宮地教官によるダミーブレイクの緊急操作がうまく行かずに失敗。落ち込んでいたところにすぐに江口教官から続けてダミーブレイク。2度目はなんとか冷静に対処して成功し、すこし時間をおいて初ソロに出た。

フライト自体は本当に何も無く、ウインチ横で360度旋回を何回かして帰ってくるというだけのものではあったが、無事に帰ってこれたこと、そしてちゃんと機体を取ってもらえたことで満足のいくフライトになった。

初ソロはただの通過点であることはわかっていたが、大きな達成感を得られた。この気持ちを忘れずにこれからもフライトに励み、ライセンス取得、大会の出場を目標にしていきたいと思う。

最後になりましたが、指導していただいた教官方、勇気付けてくれた部員の皆様に心から感謝します。これからも迷惑をかけると思いますがよろしくお願いします。